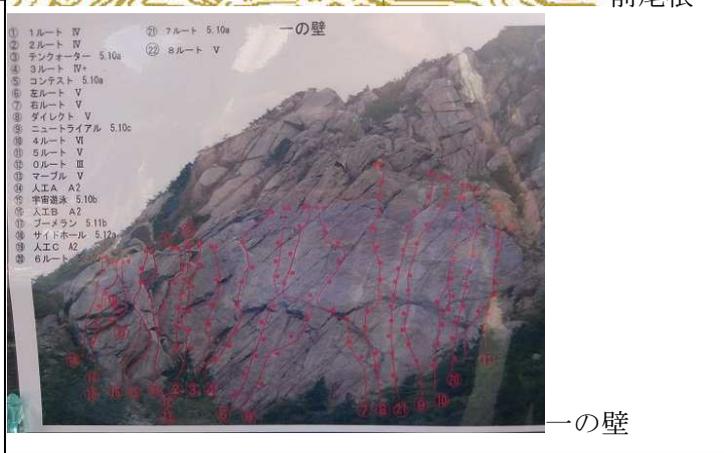


5 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL: 西尾 吉田、神戸 その他各社多数
		報告日	6/11		
山 域	鈴鹿	山行日	2014 年 5 月 17 日 (土)		
山 名	藤内壁 (御在所)				

山行目的	登山技術講習会(全豊田岳連親睦)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集 会担当者



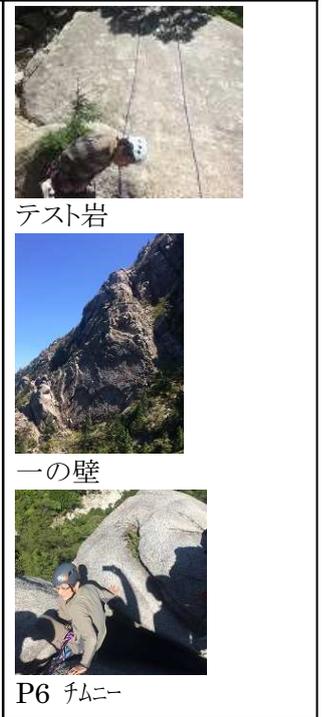
14/05/17

8:30 御在所裏道 北谷
小屋前に集合、開会式
9:05 出発
9:30 テスト岩着

基本確認(ロープワーク)
P7 スラブでトップロープ
での練習

13 時頃-15:30 P6 チムニ
ーで練習

17:10 頃デンソー日帰り
組下山



〈山行報告〉今回の目的は、南山での岩登り訓練からのステップアップの予定で、できる人はマルチピッチ登攀の練習であった。結果は技術向上というより現状の自分のレベル確認に終わった。それでもトヨタグループ各社の山岳部の方たちと親睦を深めることができた。

裏道登山道を進み 8 時頃藤内小屋の対岸へ橋を渡ると幹事会社豊田自動織機山岳部の I さんが既に到着されていた。やがて 1 人が遅刻するも全員で集合写真。組分けが済み、トヨタ山岳部のハイキング組と別れ、30 分ほど藤内壁の前尾根手前のテスト岩に着く。班分けされた私のチームは、豊田中研山岳部の N さん A さんが講師であった。私以外生徒はアイシンの I さん、トヨタの M さんで、若手で経験は皆同程度であった。まず 8 の字やクローブヒッチ、プルージックなど確認し、テスト岩はテストで終了。前尾根は既に渋滞しており、訓練ということでテスト岩すぐ上の P7 の左にあるスラブでトップロープを張っての練習となった。私はこんな手がかり足がかりの無い所は初めてで、皆さんの最後にチャレンジしたが、何度かバーチャル滑落した。ハーケンにセルフビレイをして休みつつ何とかあったが、もう一度トップロープでなら挑戦したい。ここをリードで登るにはそうとう修行が必要だ。足が滑る前に足

を出す必要があるようだ。次の課題は巻き道を少し登った P6 のチムニーだ。ここはバック&フットで摩擦で上っていくのだが、要領を得ず、膝を入れて休んでばかりいた。これまた再訪必要だ。ここで全員が実施した所で終了になり北谷小屋に戻った。前尾根組の吉田さん、一壁組の西尾さんはそれぞれ満足のいくクライムができたようだった。



〈リーダー所見〉レベルに合わせたグループ分けとフォローもしっかりしていたため、安全に技術向上に集中することができた。南山からステップアップを図る良いきっかけになったかと思う。岩登りの経験が浅くとも参加可能ではあったが、他メンバーの負担にならないよう DN 内で岩登り技術を共有し、次回の参加者増を狙っていきたい。

確認 (リーダー)
西
14/05/20
尾
作成 (報告者)
神
14/05/19
戸